

志野医師からのひと言：肥満の治療(手術療法)

高度肥満の方で糖尿病などを合併し、通常の食事、運動療法で改善せず、内科的治療に難渋する場合、手術治療という選択肢があります。

簡単にいうと胃を小さくし食事摂取量を減らす手術です。体重を落とすことを主目的とするものを減量手術、肥満関連疾患の治療を目的とするものをメタボリックサージェリーと呼んだりします。

代表的な術式として、腹腔鏡下スリーブ状胃切除術(LSG)というのがあります。残った胃の容量が約 100 ml になります。より効果を高めるため LSG に小腸のバイパス術を追加する術式もあります。

ただし手術を成功させるためには、手術前後の管理に高度な専門性を必要としますし、手術に伴う合併症にも精通した限られた施設で行われる必要があります。

肥満症に対する外科的治療は、内科的な治療よりも確実に効果があると証明されていますが、以上のような注意が必要な特殊な治療といえます。

